

2017年3月期中間決算説明会資料

株式会社島津製作所

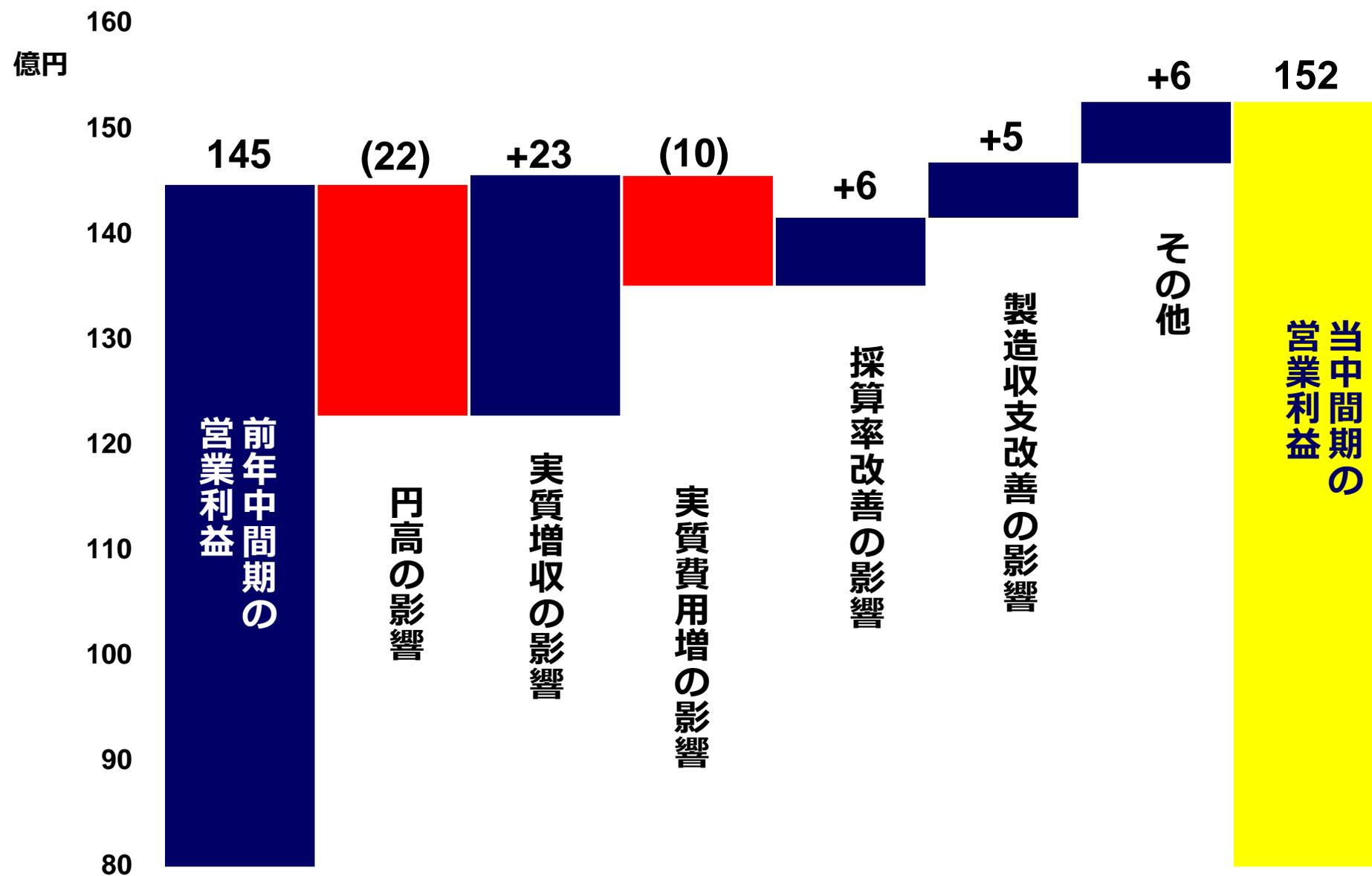
代表取締役社長 上田輝久

損益計算書

- * 売上高は、前年同期比4%の減少、円高影響を除くと実質約3%増加
- * 営業利益は、前年同期比6%の増加、円高影響を除くと実質約31%増加
- * 営業利益率は、前年同期比0.9ポイント改善し9.9%に向上

単位：億円, 除く営業利益率, EPS	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減		
			額	率	参考：除く為替影響
売上高	1,548	1,604	(57)	-3.5%	3.4%
営業利益	152	145	8	5.5%	31.1%
営業利益率	9.9%	9.0%	0.9ポイント改善		
経常利益	146	149	(3)	-2.1%	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	103	103	0	0.3%	
EPS	¥34.88	¥34.92	(¥0.04)	-0.1%	
期中平均為替レート	US\$105.33	US\$121.85	(US\$16.52)	-13.6%	
	€ 118.20	€ 135.12	(€ 16.92)	-12.5%	
為替影響額					
売上高	(111)				
営業利益	(37)				

2017年3月中間期/ 利益増減要因



事業セグメント別損益

- * 計測機器の収益性向上が持続
- * 医用機器は黒字転換
- * 航空機器も赤字巾が着実に減少、ほぼ収支均衡状態になった

各欄右側は営業利益率

単位：億円

		2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		
						額	率	
計測機器	売上高	937	15.1%	976	14.6%	(38)	-3.9%	0.5pt. 改善
	営業利益	142		142		(0)	-0.3%	
医用機器	売上高	295	1.8%	300	-0.5%	(5)	-1.6%	2.3pt. 改善
	営業利益	5		(1)		7	—	
航空機器	売上高	118	-0.3%	122	-4.6%	(4)	-3.2%	4.3pt. 改善
	営業利益	(0)		(6)		6	—	
産業機器	売上高	165	6.8%	174	6.9%	(8)	-4.8%	0.1pt. 悪化
	営業利益	11		12		(1)	-6.7%	
その他	売上高	32	8.9%	33	15.4%	(1)	-3.3%	6.5pt. 悪化
	営業利益	3		6		(3)	-42.6%	
営業利益調整額		(8)	—	(9)	—	0	—	
合計	売上高	1548	9.9%	1604	9.0%	(57)	-3.5%	0.9pt. 改善
	営業利益	152		145		8	5.5%	

計測機器/ サブセグメント売上高及び 製品・アフターマーケット 売上高

- * 前年同期比4%の減収、円高影響約81億円を除くと実質約4%の増収
- * 主力のLC・MSは、円高影響を除くと実質的に拡大
- * アフターマーケット比率は28%に向上

各欄右側は構成率 単位：億円		2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		
						額	率	参考：除く 為替影響
サブセグ メント	汎用分析機器	640	68%	659	68%	(19)	-2.9%	
	液体クロマトグラフ (LC)	269	29%	275	28%	(6)	-2.0%	
	質量分析計 (MS)	157	17%	157	16%	(0)	-0.2%	
	その他	297	32%	316	32%	(20)	-6.2%	
合計		937	100%	976	100%	(39)	-4.0%	4.3%
製品・ アフター	製品	673	72%	708	73%	(35)	-4.9%	
	アフターマーケット	264	28%	268	27%	(4)	-1.3%	
合計		937	100%	976	100%	(39)	-4.0%	4.3%
参考：為替影響額		(81)						

医用機器/ サブセグメント売上高及び 製品・アフターマーケット売上高

- * 前年同期比2%の減収、円高影響約18億円を除くと実質約5%の増収
- * X線TVシステムや血管撮影システムが順調に推移
- * アフターマーケット比率は32%に向上

		2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		参考：除く 為替影響
						額	率	
各欄右側は構成率 単位：億円								
サブセグ メント	X線診断システム	217	73%	222	74%	(6)	-2.5%	
	X線TVシステム	84	28%	80	27%	4	5.3%	
	血管撮影システム	33	11%	31	10%	3	8.1%	
	一般撮影装置	99	34%	112	37%	(12)	-11.1%	
	その他	79	27%	78	26%	1	1.1%	
合計		295	100%	300	100%	(5)	-1.6%	4.6%
製品・ アフター	製品	201	68%	208	69%	(7)	-3.4%	
	アフターマーケット	94	32%	92	31%	2	2.6%	
	合計	295	100%	300	100%	(5)	-1.6%	4.6%

参考：為替影響額 (18)

航空機器/サブセグメント売上高

- * 前年同期比3%の減収、円高影響約3億円を除くと実質微減
- * 国内防衛事業は、量産が進む新型機への搭載部品供給等で拡大
- * 民間航空機器事業は、ボーイングB747-8の減産等で減収

各欄右側は構成率 単位：億円	2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		
					額	率	参考：除く 為替影響額
防衛	96	82%	91	75%	6	6.3%	
民間航空機	22	18%	31	25%	(10)	-30.9%	
合計	118	100%	122	100%	(4)	-3.2%	-0.5%

参考：為替影響額	(3)
----------	-----

産業機器/サブセグメント売上高及び 製品・アフターマーケット売上高

- * 前年同期比5%の減収、円高影響約9億円を除くと実質前年同期並み
- * ターボ分子ポンプは、半導体・フラットパネル製造向けを中心に拡大
- * 油圧機器等は市況の停滞等で減少

各欄右側は構成率 単位：億円		2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		
						額	率	参考：除く 為替影響額
サブセグ メント	ターボ分子ポンプ	60	36%	54	31%	6	10.6%	
	油圧機器	56	34%	58	34%	(2)	-3.3%	
	工業機器	19	11%	27	15%	(8)	-30.9%	
	その他	31	19%	35	20%	(4)	-11.1%	
合計		165	100%	174	100%	(8)	-4.8%	0.1%
製品・ アフター	製品	142	86%	150	86%	(8)	-5.2%	
	アフターマーケット	23	14%	24	14%	(1)	-2.2%	
	合計	165	100%	174	100%	(8)	-4.8%	0.1%
参考：為替影響額		(9)						

地域別売上高

- * 日本は計測機器・医用機器のハイエンド製品を中心に拡大
- * 海外は前年同期比11%の減収、円高影響約111億円を除くと約2%の増収
- * 日本・中国・東南アジア・インド等のアジア地域が牽引

各欄右側は構成率 単位：億円	2017.3中間期		2016.3中間期		前年同期比増減		
					額	率	
						円ベース	参考：現地 通貨ベース
日本	772	50%	735	46%	37	5.0%	5.0%
米州	207	13%	243	15%	(37)	-15.1%	-2.3%
北米	185	12%	217	14%	(32)	-14.6%	-1.3%
南米	21	1%	26	3%	(5)	-18.7%	-10.7%
欧州	114	7%	127	8%	(14)	-10.7%	2.1%
中国	256	17%	287	18%	(31)	-10.9%	3.1%
その他のアジア	153	10%	153	10%	0	0.3%	11.0%
その他	47	3%	59	4%	(12)	-20.3%	-7.8%
合計	1,548	100%	1,604	100%	(57)	-3.5%	3.4%
海外売上高	776	50%	869	54%	(93)	-10.7%	2.1%

地域別売上高/ 日本

- * 計測機器：製薬・化学分野に向けLC及びMSを中心に拡大
- * 医用機器：強化機種種の血管撮影システムが大幅に増加
- * 航空機器：新型航空機向け搭載部品が増加
- * 産業機器：前年同期の大口納入の影響で減少

単位：億円	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減	
			額	率
計測機器	389	372	17	4.5%
医用機器	165	149	17	11.1%
航空機器	96	91	6	6.3%
産業機器	89	90	(1)	-1.4%
その他	32	33	(1)	-3.3%
合計	772	735	37	5.0%

地域別売上高/ 北米

- * 前年同期比15%の減収、円高影響約29億円を除くと実質約1%の減収
- * 計測機器は15%の減収、円高影響約16億円を除くと実質約1%の減収
- * 医用機器は10%の減収、円高影響約7億円を除くと実質約4%の増収

単位：億円	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減		
			額	率	
				円ベース	参考：現地 通貨ベース
計測機器	104	121	(18)	-14.5%	-1.0%
医用機器	42	47	(5)	-9.9%	4.2%
航空機器	20	27	(7)	-26.1%	-14.5%
産業機器	19	21	(2)	-11.4%	2.4%
合計	185	217	(32)	-14.6%	-1.3%
参考：為替影響額	(29)				

地域別売上高/ 欧州

- * 前年同期比11%の減収、円高影響約16億円を除くと実質約2%の増収
- * 計測機器は14%の減収、円高影響約13億円を除くと実質約1%の減収
- * 医用機器は4%の減収、円高影響約2億円を除くと実質約10%の増収

単位：億円	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減		
			額	率	
				円ベース	参考：現地 通貨ベース
計測機器	91	105	(14)	-13.7%	-1.4%
医用機器	15	15	(1)	-3.6%	10.2%
航空機器	1	3	(2)	-77.6%	-74.4%
産業機器	8	4	4	x2.0	x2.3
合計	114	127	(14)	-10.7%	2.1%
参考：為替影響額	(16)				

地域別売上高/ 中国

- * 前年同期比11%の減収、円高影響40億円を除くと実質約3%の増収
- * 計測機器は6%の減収、円高影響32億円を除くと実質9%の増収
- * 医用機器は4%の減収、円高影響5億円を除くと実質12%の増収

単位：億円	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減		
			額	率	
				円ベース	参考：現地 通貨ベース
計測機器	204	218	(14)	-6.2%	8.5%
医用機器	29	30	(1)	-3.6%	11.5%
産業機器	22	39	(17)	-42.4%	-33.3%
合計	256	287	(31)	-10.9%	3.1%

参考：為替影響額

(40)

地域別売上高/ その他のアジア

- * 売上高は前年同期並み、円高影響16億円を除くと実質約11%の増収
- * 計測機器は4%の増収、円高影響14億円を除くと実質17%の増収
- * 産業機器は41%の増収、半導体・FPD製造向けにTMPが大幅増

単位：億円	2017.3中間期	2016.3中間期	前年同期比増減		
			額	率	
				円ベース	参考：現地 通貨ベース
計測機器	112	107	5	4.4%	17.3%
医用機器	17	28	(11)	-40.0%	-32.6%
産業機器	24	17	7	40.8%	43.5%
合計	153	153	0	0.3%	11.0%

参考：為替影響額	(16)
----------	------

2017年3月中間期末/ 貸借対照表

- * 棚卸資産は、前年同期よりやや減少
- * 有利子負債は、短期借入金を中心に前年同期より減少
- * 自己資本比率は前年同期比0.3ポイント改善し64.8%に向上

単位：億円、除く自己資本比率

	2016.9.30	2016.3.31	2015.9.30	前年同期比	
				額	率
《資産の部》					
流動資産	2,300	2,417	2,287	13	0.6%
棚卸資産	782	737	793	(12)	-1.5%
固定資産	1,065	1,081	1,065	1	0.1%
資産合計	3,365	3,498	3,352	13	0.4%

	2016.9.30	2016.3.31	2015.9.30	前年同期比	
				額	率
《負債の部》					
流動負債	882	976	904	(22)	-2.4%
固定負債	298	322	281	17	6.0%
有利子負債	183	192	213	(30)	-13.9%
負債合計	1,181	1,298	1,186	(5)	-0.4%
《純資産の部》					
自己資本	2,181	2,197	2,163	18	0.8%
非支配株主持	3	3	3	0	3.5%
純資産合計	2,184	2,200	2,166	18	0.8%
総資本合計	3,365	3,498	3,352	13	0.4%

自己資本比率 | **64.8%** | 62.8% | 64.5% | 0.3ポイント増加

2017年3月中間期/ キャッシュフロー計算書

* フリーキャッシュフロー93億円を確保

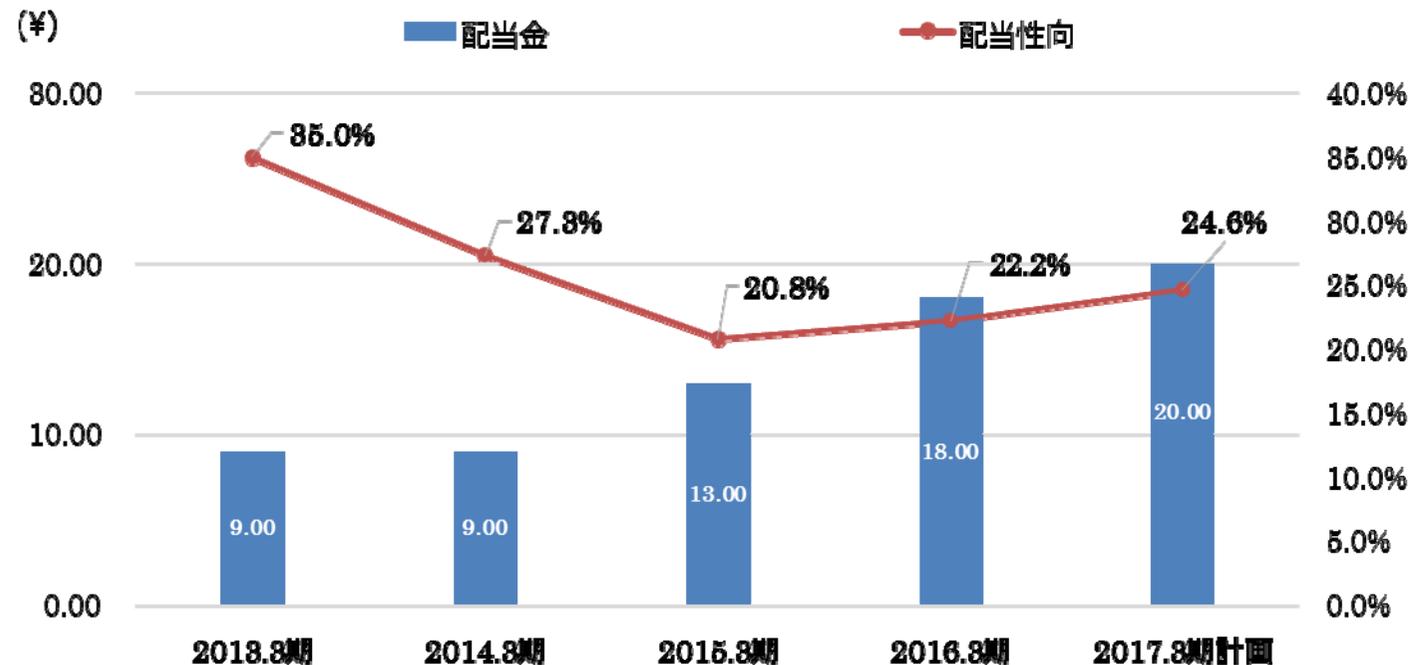
* 現金・同等物は前年同期より29億円増の453億円

単位：億円	2016.3中間期	2015.3中間期	前年同期比
			額
営業キャッシュフロー	156	171	(16)
投資キャッシュフロー	(63)	(62)	(1)
フリーキャッシュフロー	93	110	(17)
財務キャッシュフロー	(40)	(64)	23
現金・同等物に係る換算差額	(40)	(6)	(33)
現金・同等物の増減額	13	40	(27)
現金・同等物に係る期首残高	435	384	51
新規連結に伴う現金・現金同等物の増減額	5	0	5
現金・同等物に係る中間期末残高	453	424	29

2017年3月中間期/ 配当金・配当性向

- * 期初公表通り中間配当1株10円を実施
- * 期末配当も期初公表通り1株10円を予定
- * 安定的配当により、着実に株主への還元を実行

	2017.3期		2016.3期		前期比
	中間期	期末予定	中間期	期末	年間
一株当り配当金	¥10.00	¥10.00	¥9.00	¥9.00	¥2.00
年間配当性向	24.6%		22.2%		2.4ポイント増



2017年3月期/ 事業環境見通し

日本	<p>製薬・CRO等の企業設備投資の増加基調及び政府補正予算による官公庁・大学需要の拡大、またクリニックを中心にした新規需要が見込まれる 〈リスク〉円高による企業投資マインドの減退等</p>
米国	<p>製薬・食品安全・環境また医療機関での堅調な需要が見込まれる 〈リスク〉金利引き上げによる設備投資の停滞等</p>
欧州	<p>製薬・食品安全・環境等での堅調な需要が見込まれる 〈リスク〉イギリスのEU離脱やロシア経済の下振れなどの欧州経済への余波</p>
中国	<p>食品安全・環境等の政府プロジェクトの進行とCRO等での旺盛な設備投資、また医療機関での入札案件の増加基調の継続 〈リスク〉余剰設備調整の長期化、業績不振の国営企業の整理にともなう一時的な混乱等</p>
アジア	<p>東南アジアでの各国政府の景気刺激策による需要増、及びインドでの製薬・CROの投資の継続 〈リスク〉中国景気の下振れ懸念、米国利上げにともなう通貨安の影響等</p>

2017年3月期/業績予想

- * 当期年間予想は期初公表を据え置く
- * 比較的安定した市況下で、ハイエンド製品を中心に業績拡大を推進、中期経営計画の達成を目指す

単位：億円，除く営業利益率・EPS	2017.3期予想	2016.3期	前期比	
			額	率
売上高	3,500	3,422	78	2.3%
営業利益	360	357	3	0.8%
営業利益率	10.3%	10.4%	0.1%ポイント悪化	
経常利益	345	348	(3)	-1.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	240	239	1	0.4%
EPS	¥81.40	¥81.05	¥0.35	0.4%
期中平均為替レート	US\$105	US\$120.19	(US\$15.19)	-12.64%
	€ 117	€ 132.63	(€ 15.63)	-11.78%

2017年3月期/ 事業セグメント別業績予想

- * 計測機器・医用機器は、ハイエンド製品の拡大を中心に増収・増益を目指す
- * 産業機器は、円高影響を除いて、実質増収増益を予想

単位：億円		2017.3期予想	2016.3期	前期比	
				額	率
計測機器	売上高	2,180	2,084	96	4.6%
	営業利益	335	330	5	1.6%
医用機器	売上高	653	646	7	1.1%
	営業利益	20	10	10	×2.4
航空機器	売上高	259	288	(29)	-10.2%
	営業利益	3	3	(0)	-13.3%
産業機器	売上高	342	335	7	2.0%
	営業利益	20	22	(2)	-9.3%
その他	売上高	66	69	(3)	-3.9%
	営業利益	7	13	(6)	-44.7%
営業利益調整額		(25)	(21)	(4)	—
合計	売上高	3,500	3,422	78	2.3%
	営業利益	360	357	3	0.8%

下期の重点的取り組み〈計測機器〉 －ハイエンド製品の展開加速－

- * 製薬を中心に高度な研究開発に向けたLC・LCMSの拡大
- * 食品・環境等の安全安心に対する需要への対応強化



「製薬を中心にした高度な研究開発分野」

- * 創薬・薬物動態・抗体医薬等でのLC・LCMSの拡大

「食品分析、環境分析」

- * 安全安心に対する欧州・中国等での需要増への対応(GCMS)

「LCMSのラインアップの拡充」

- * 受託分析や政府プロジェクトなど中国での旺盛な需要に対応

下期の重点的取り組み〈ネットワーク・アプリ〉 －装置との相乗効果を追求－

- * 医薬品規制対応に関する中国・インドでの需要の取り込み強化
- * MSの有力アプリケーションによる差別化推進



「ネットワークシステム “LabSolutins CS”」

- * 統合プラットフォーム化を実現した優れた特徴で差別化、FDA 新規規制〔データ完全性(Data Integrity)〕対応による需要の取り込みも強化
- * “LabSolutins” 導入の顧客における、各種分析装置の購入促進、製品とネットワークの相乗効果を追求

「アプリケーションソフトウェア」

- * 残留農薬(日・米規制対応)、代謝物、機能性食品など有力なアプリケーションを絡めた装置の拡販を推進

下期の重点的取り組み〈医用機器〉

－ X線診断装置の展開強化－

- * X線TVや血管撮影のハイエンド機種を拡大
- * 北米・中国で一般撮影装置の新製品投入による挽回を推進



SONIALVISION G4



Trinias

MobileDart
Evolution MX7

「X線TVシステム」

- * “SONIALVISION G4” のグローバル展開を加速。消化器・整形・泌尿器での診断や骨密度検査など幅広い分野で拡大

「血管撮影システム」

- * 販路を強化拡充。またアフターマーケット拡大を推進

「一般撮影装置」

- * 北米：ハイエンドの新製品2機種を投入
- * 中国：現地生産のミドルレンジの新製品を投入

下期の重点的取り組み〈アフターマーケット〉

－マルチベンダー・リモートメンテ等を推進－

- * 計測機器：多角的なサービスを提供する“LabTotal”事業の拡大
- * 医用機器：血管撮影システムのリモートメンテナンスサービスの推進
- * 産業機器：ターボ分子ポンプのオーバーホール事業の拡大

「計測機器」

- * プロアクティブサービス(保守・点検)やマルチベンダーサービスなど“LabTotal”事業の拡大
- * M2Mを用いたLCのモニターサービスの運用に取り組む



「医用機器」

- * 血管撮影システムでのリモートメンテナンスサービスの推進

「産業機器(TMP)」

- * ターボ分子ポンプの半導体・フラットパネル工場での定期オーバーホールサービスの拡大





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。